

ライフ・テクノサービスの情報誌

週刊通信

◆厚労省 初任者研修導入へ 「ヘルパー 2 級」は 2012 度末で廃止 シルバー新報 (2011/11)

厚生労働省は、介護職員の研修体系見直しの一環として導入を予定していたヘルパー 2 級に代わる「介護職員初任者研修」について、2013 年度からスタートさせることを決めた。あわせて 06 年度から始まった 500 時間の介護職員基礎研修も来年度末までで廃止し、改正介護福祉士法で導入する実務者研修に一本化する。

介護職員初任者研修は今年 1 月、厚労省の「今後の介護人材養成の在り方に関する検討会」で導入が示されていた。介護福祉士資格取得に至るまでに乱立している様々な研修を再編し、介護職としてステップアップしていくための研修教育体系に見直すことが狙いだ。現在のヘルパー 2 級研修を全面的に初任者研修に移行させ、研修体系の「入り口」として位置付け直す。(以下略)

◆福祉用具貸与の個別援助計画導入 おおむね了承 シルバー産業新聞 (2011/11)

厚生労働省は 11 月 10 日、社会保障審議会介護給付費分科会(座長=大森彌・東京大学名誉教授)を開催し、福祉用具サービスの次期改正内容について検討を行った。これまでの検討会で示されてきた、福祉用具貸与にも個別援助計画の作成を義務付ける方針については、出席した委員から異論がなく、概ね了承となった。

この日、福祉用具改正の論点として示されたのは、①個別援助計画の導入②介護給付費通知書の推進——の 2 点。

①個別援助計画の導入については、前回に引き続き、今回の審議でも各委員から特段の異論はなく、概ね了承された。これにより、次期改正での個別援助計画の導入は決定的となった。個別援助計画の導入を巡っては▽義務化の周知徹底▽導入までのスケジュール▽130 万人いる既存の福祉用具利用者の取り扱い▽計画書作成者の要件▽専門性に対する評価——など課題も多い。12 年度からの実施に向け、今後、関係団体などと調整しながら、具体的な中身が検討される。

②介護給付費通知書の推進については、現在 578 市町村で取り組まれているが、これを全保険者で実施されるように推進していく考えを示した。委員からは「介護給付費通知は利用者側のコスト意識につながるし、適切な価格設定に役立つ」(高智英太郎・健康保険組合連合会理事)と全面的に賛成する意見が多く、「真面目にモニタリングやメンテナンスを実施している事業者のレンタル料は高くなる。一方で何もしない事業者はレンタル料を安くできる。不適切な貸与を行う事業者については、名前を公表できるようにするなど、保険者機能を強化すべき」(池田省三・地域ケア政策ネットワーク研究主幹)、「福祉用具の価格については、きちんとした評価やモデル事業を行い、できれば医療保険の薬価同様、参照価格を示すような段階に進めて欲しい」(村川浩一・日本社会事業大学教授)など、さらなる給付の適正化を求める意見も出された。また、この日は 9 月 8 日の「介護保険福祉用具・住宅改修評価検討会」で介護保険の対象にすべきとされた福祉用具・住宅改修の追加 6 種類の報告も行われた。次期改正で追加が予定されているのは

- ①介助用ベルト(貸与)②自動排泄処理装置(貸与、一部は購入)③便座の底上げ部材(購入)
- ④通路等の傾斜の解消(住宅改修)⑤扉の撤去(住宅改修)⑥転落防止柵の設置(住宅改修)の 6 種類。

◆介護の備えなしが半数以上 シルバー産業新聞 (2011/12)

健康や病気、介護について、多くの人が不安を感じている一方で、半数以上が介護の不安に対する備えをしていないことが、あいおいニッセイ同和損害保険(東京都渋谷区)の調査で明らかになった。調査は 7 月 16・17 の両日、東京国際フォーラムで開催された「オヤノコト、エキスポ 2011」の来場者に対面式で実施、658 人から回答を得た。「将来の健康・病気、介護の不安の有無」を尋ねたところ、健康・病気が不安な人は 66.0%に上ったが、介護が不安な人は 37.5%にとどまった。健康・病気などの目先の不安は実感できても、その先の不安は直視できおらず、介護への理解が進んでいない現状がうかがえる。不安のある人の不安に対する備えについても、健康・病気には 57%が医療保険に加入し、24%が貯蓄をしているのに対し、介護には 53%が「備えなし」と回答している。介護の不安に備えていない理由については、「お金がない」が 36.9%で最も多く、「相談先がない」が 32.2%と続き、「社会保障が充実」は 10.7%だった。



— I N D E X —

- ◆厚労省 初任者研修導入へ 「ヘルパー 2 級」は 2012 度末で廃止
- ◆福祉用具貸与の個別援助計画導入 おおむね了承
- ◆介護の備えなしが半数以上
- ◆高齢者向け会話ロボ 『うなずきかぼちゃん』発売。
株式会社ライフ・テクノサービスにて、デモ機あります。担当相談員まで。

— 発 行 元 —

名称：株式会社 ライフ・テクノサービス
設立：平成 9 年 7 月 28 日
代表者：代表取締役 中川 裕
社員数：200 名(パート 75 人含む)
津事業所
事務処理センター 津市垂水 686
TEL 059-226-8217 FAX 059-226-8240
本社 津市中央 4-19LTS 中央ビル
TEL 059-213-7773 FAX 059-213-7774
四日市事業所 四日市市新正 2 丁目 11 番 20 号
伊賀事業所 伊賀市四十九町 2264-8
南勢事業所 伊勢市小俣町明野 280
憩いの里大治田 三重県四日市市大治田 2 丁目
18-19
フリーダイヤル 0120-707-793
憩いの里伊賀ケアホーム 三重県伊賀市平野清水 641-1
TEL 0596-48-7721 FAX 0595-48-7726

◆高齢者向け会話ロボ、『うなずきかぼちゃん』発売。

株式会社ライフ・テクノサービスにて、デモ機あります。担当相談員まで。



ピップ（大阪市、藤本久土社長）は今月中旬から、高齢者向けコミュニケーション型ロボット「うなずきかぼちゃん」を発売する。同品は、「たまごっち」をはじめとする玩具の企画・開発に携わるウィズ（東京都中央区、横井昭裕社長）との共同開発。10月13日大阪市内での記者発表会でお披露目された。同品はコウノトリがカボチャ畑に落ちていった3歳の男の子という設定。音声、光、動きなどを感知する5つのセンサーが内蔵され、触ったり話しかけたりすることで、約400のフレーズの中から言葉を発してコミュニケーションをとれる。話しかけると言葉が途切れたことを認識してからう

「お昼ごはんもう食べた？」など時間を意識させるような発話や、「ねえねえ、一緒に笑おう、ワッハハハ」など会話やふれ合いを促すフレーズ、また「雪やこんこん」「茶摘み」など季節に応じた唄も歌う。季節や時間帯に応じた会話ができることで、独居高齢者の生活リズム安定の支援も期待できる。使用者への呼びかけ方は、「おばあちゃん」「じいじ」など6種類から選択できる。同社では、9月から12月まで40名の在宅高齢者に同品を使用してもらい、大阪市立大学大学院医学研究科と共同で、癒し・抗疲労の効果について検証中。また大阪市を通じて、同市内の特別養護老人ホーム103カ所へ、同品を寄贈した。同品は、ピップの主要な卸先であるドラッグストアルートではなく、同社のインターネット通販による直販、同社の介護部門企業であるピップケアウェル安心と、その卸先である介護ショップを通じて販売される。同社では年間3万個の販売を目指す。価格は2万1千円。

なずきながらしゃべり出すのが特長。コミュニケーションを深めるほど、発する言葉も増えていく。また抱き上げると喜びの反応も見せる。

高齢者向けコミュニケーション型ロボット

<http://www.pip-club.com/kabo>

うなずきかぼちゃん

※デモ機あります。担当相談員までお申し出ください。

聞く、話す、感じる、考える、うなずく。
毎日が笑顔になれる!



**一緒に「おはよう!」
一緒に「おやすみ!」**
かぼちゃんは、設定した時間に規則正しく寝起きます。



おしゃべりしてあげてください。



うなずく

うなずきながら、おしゃべりしてくれます。「かぼちゃん」に話しかけると、言葉が途切れたことを認識してから「お話を聞いているよ」というようにタイミングよくうなずきながらおしゃべりしてくれます。



一緒に遊べる

かぼちゃんと一緒に体操! かぼちゃんの体を使って遊べる3種類の体操や遊びで一緒に遊べます。



呼びかける

呼び名※で呼んでくれます!

あらかじめ設定された呼び名で呼んでくれるので親近感、安心感がアップします。

※呼び名は、おばあちゃん/ばあば/おじいちゃん/じいじ/おかあさん/おとうさん/おねえちゃん/おにいちゃんの中から選べます



なんでもうなずく!



説明ムービーを見る



一緒に季節を感じよう!

時間や季節を把握しておしゃべりをします。